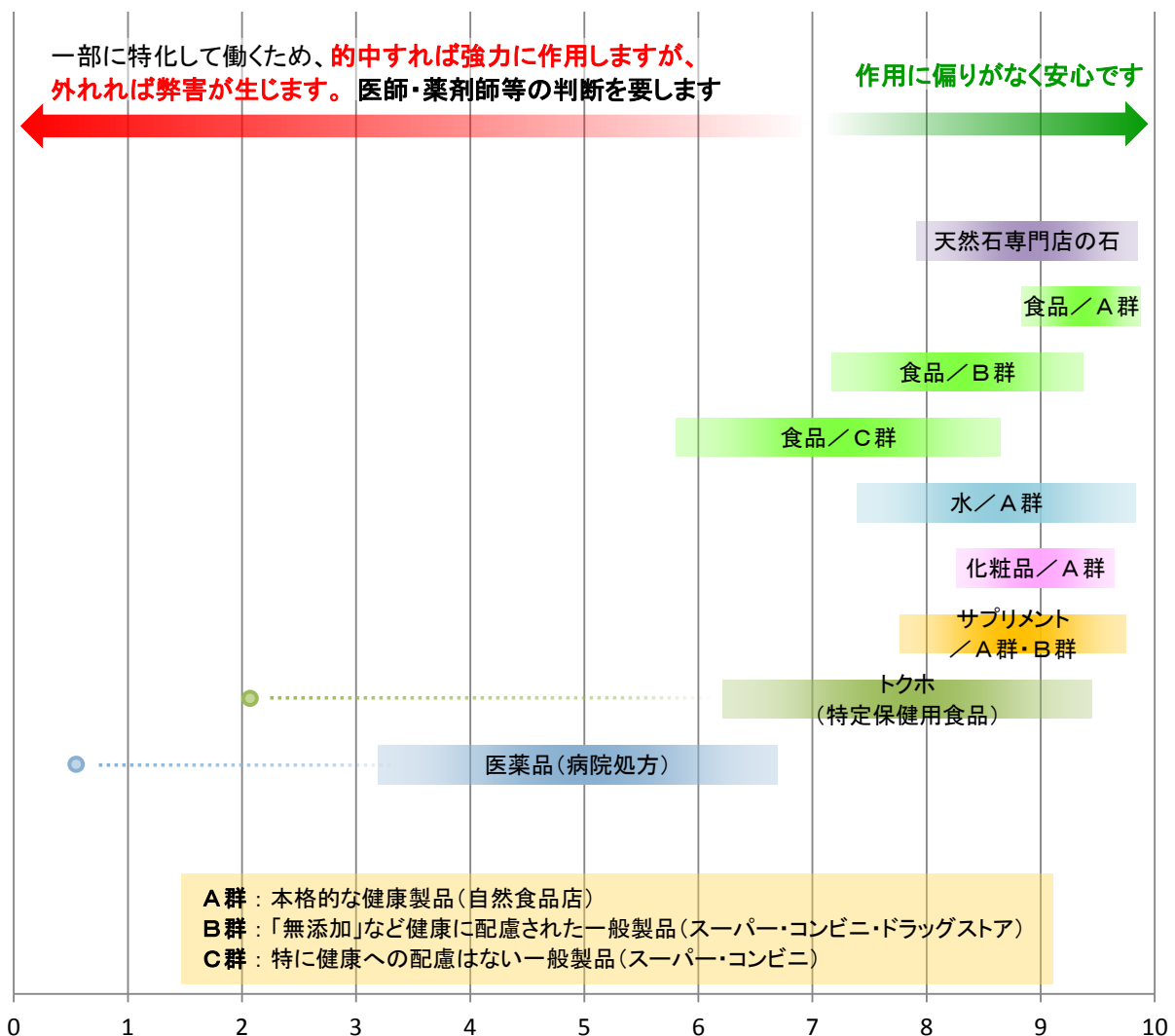


## 世間の製品の状況 II 《安心度(バランス)》



### ■ 《安心度(バランス)》とは

ひとつの製品であっても、測定項目によって波動値は異なり、数値間に格差が生じます。

《安心度》は、この格差から割り出したもので、以下の性質を表します。

- ・高値 = 格差が小さく、バランスがよい。誰もが安心して利用できる(食品など)
- ・低値 = 格差が大きく、アンバランス。特定の強力な作用が望める反面、リスクを伴う(薬など)

\*《安心度》の計算式は、アクアタック研究室が作成したものです。

### ■ グラフの説明

「医薬品」の《安心度》が最も低く、「トクホ」がそれに続きます。「食品」は、比較的高いところにあります。

該当する製品の約70%(平均値の両側35%ずつ)が分布すると推定される範囲を描いておりましたが、なかには、そこから大きく外れるものもあります。参考までに、「トクホ」「医薬品」のうち《安心度》が最も低かったものを、分布範囲の左側に描き加えました(○ ……)

特定の効能を持たない「食品/C群」の《安心度》が低い理由として、添加物などの影響が考えられます。「医薬品」や「トクホ」のように特定の効能を目的として設計されたものではありませんから、想定外の偏りが生じていることとなります。